

二〇二四年度

聖ヨゼフ学園中学校入学試験問題

第二回〔国語〕

〔注意〕 解答はすべて解答用紙に書きなさい。

字数制限のあるものについては、句読点「、」「。」、「（や」「（ ）」などの記号も一字に数えます。

* 開始のチャイムが鳴ったら、解答用紙に氏名を記入してください。

一

次の①～⑤の―線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 町の小さなユウビンキョクにも、たくさんの手紙が届く。
- ② 相手を思いやり、ウヤマう気持ちをもつことが大事だ。
- ③ どれだけシンコクな問題も、私たちの力で必ず解決してみせる。
- ④ 卒業式で見た先輩の後ろスガタは、とても立派だった。
- ⑤ 彼はチャンスをつかみ取り、必ず成功をオサめるだろう。

二

次の①～⑤の――線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 私の長所は、人よりも度胸があるところです。
- ② 芸能界を退き、起業家として活躍する。
- ③ 潮の満ち引きを見ながら、船出のタイミングを待つ。
- ④ 三年という時を経て、私は彼と再会した。
- ⑤ 購入手続きについてまとめられた冊子を読む。

三

次の①～⑤で説明されている意味を持つ漢字を、後のア～オからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

① 1. 物事のもとになるもの。 2. 書物。 3. 細長いものを数える言葉。

② 1. 大事なところ。 2. いる。求める。強く望む。

③ 1. 物事を中心になるもの。 2. 人柄ひとがら。気力。 3. 苦勞。

④ 1. 文章を集めて書物にする。 2. 組み入れて、ひとまとまりにする。 3. 作品。作品の区分け。

⑤ 1. 決まり。 2. 程合い。 3. 目盛り。 4. 回数。 5. 物差し。 6. 心や人柄ひとがらの具合。

ア 要 イ 編 ウ 本 エ 度 オ 骨

四

次の□にひらがなをいれて、意味の通る文章にしなさい。④、⑤に関しては、A・Bの文が同じ意味の文章になるように、ひらがなを入れなさい(□ひとつに一字が入ります)。

① その中には、芝しほの根や、草の葉や、くさった木ぎれなど□、ごちやごちやはいっていましたが、でもところどころ、白いものがきらきら光っています。

② 日本には多くの離島りとうが存在する。□□□□、宮古島みやこじま、佐渡島さどがしま、屋久島やくしまなどがある。

③ もしもパイロットになれた□□□□、たくさんの世界遺産を上から眺めたい。

④ A 宿題をする時間はあつたはずだ。

B 宿題をする時間がなかった□□□□□□。

⑤ A おばあちゃんの一言は、わたしをばげました。

B わたしは、おばあちゃんの一言に□□□□□□□□。

五

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

田中真知『風をとおすレッスン』（二〇二三年 創元社）より出題

六

白いご飯とみそ汁は、日本の代表的な家庭料理です。夕食のみそ汁を作る手順を、説明してみましょう。ここでは、後に挙げる具材をすべて用いて、四人分のみそ汁をつくることとします。

【みそ汁のつくり方】

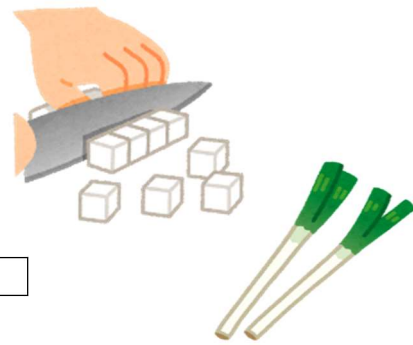
《 用意するもの 》

- ㊦ なべ ㊧ おたま ㊨ コンロ ㊩ 水 ㊪ だし
㊫ とうふ ㊬ わかめ ㊭ 長ねぎ ㊮ まな板 ㊯ 包丁^{ほうちょう} ㊰ みそ

《 みそ汁をつくる手順 》

手順① 具材を準備する

はじめに 包丁 とうふ 長ねぎ わかめ



手順② だし^{だし}をとる

つぎに なべ 水 出汁



手順③ 具材^にを煮る

そして とうふ 長ねぎ わかめ



手順④ みそ汁を完成させる

最後に みそ



問一 みそ汁の作り方をわかりやすく伝えるために、《用意するもの》の中から、「道具」と「材料」を分けて、それぞれア～サの記号で答えなさい。(すべての記号を使うこと)。()

道具	材料

問二 右のページの手順①～④で指定した言葉（「はじめに」「包丁」「つぎに」「なべ」など）をすべて使って、みそ汁の作り方をわかりやすく説明しなさい。自分で考えた言葉をつけ加えてもかまいません。また、同じ言葉を二回以上使うことも可能です。問一で分類したものをすべて使う必要はありません。

——問題は終わりです——